

洋食香味亭						
業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	群馬県高崎市			
		資本金				
		従業員数	3名			
		被承継者（左） <table border="1"> <tr> <td>保坂 恵美子</td> <td>72歳</td> <td>※承継時</td> </tr> </table>		保坂 恵美子	72歳	※承継時
保坂 恵美子	72歳	※承継時				
		承継者（右） <table border="1"> <tr> <td>保坂 修二</td> <td>44歳</td> <td>※承継時</td> </tr> </table>		保坂 修二	44歳	※承継時
保坂 修二	44歳	※承継時				
事業承継を行った時期 2018年 11月		被承継者と承継者の関係 子ども				
承継前の主たる事業の内容 家族で営む洋食店		承継前の主たる事業の課題 ・既存商品・サービスの売上高の拡大 両親の高齢化によるサービス内容の行き詰まり				
事業承継を実行するまで						
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備				
承継実行の 5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安				
両親が当店を始めて26年が経ち16年前に私達息子夫婦が店に加入して家族4人で仕事をしていました。両親の高齢化が事業承継のきっかけとなりました。	改装に合わせて店の形態を変えて一新するかどうか	仕事しかやってなかったので、仕事がなくなる生活への不安				
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安				
	特になし	今まで来てくれていたお客様への両親の引退のご案内やこれからのオペレーション				
これに一番苦労した！						
両親がいかに納得して引退できるかどうかを考えて長年の料理人、接客の仕事の最後を迎えられるかの調整						
事業承継について相談したこと						
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容					
商工会・商工会議所	事業承継補助金の資料作成や改装の資金やスムーズな代替わりの相談					
いつから相談？						
承継実行の 半年前						
相談のきっかけ						
事業承継のために承継者または被承継者自身がアプローチ						

新たな取組の標題	
老舗洋食店の事業継承と新たな取組みに向けての店舗リニューアル	
新たな取組の内容	その他の新たな事業活動
<ul style="list-style-type: none"> ●両親（被承継者）と合わせて家族4人で切り盛りしてきた店舗を承継者夫婦で引き継ぐ事で一番の問題は、両親が抜けることにより人手が足りなくなることだ。 ●そこで、両親が半世紀を越える時間をかけて高崎の洋食店として培ってきた味を引き継ぎながら、承継者の考える店作りを実現するために店舗の全面改装に取り組む。 ●そのため、ホールと厨房を隔てる壁を取り除いてオープンキッチン化、さらにホール部分にパントリーを設けてアルコールサービスやデザートの盛付けを客席から目の届く場所で行えるようにして効率的な導線を確認した。 ●今後は、香味亭人気メニューの商品化や5年後の「洋食香味亭30周年記念事業」としてのメニューを商品化して、自社ビル2階に物販とコミュニティスペースを併設した自社ブランド・ショップのオープンを目指す。 	
	
地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
地産地消やスポーツイベントの参加賞の金券の協賛など	■ 設備費  経費の主な使い道 設備費（店舗内改装工事費）
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案 <input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成 <input type="checkbox"/> 補助事業の実施	
補助金の資料作成で苦手なパソコン入力や事業計画等のサポートをしてもらいました。	
今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	5年後を目安に自社ビル2階にフリースペースを作りそこに自社商品を販売できるショップを作る予定です。フリースペースでは地域の方が利用できるコミュニティスペースとしての利用をメインに各種の利用を考えてます。
売上高 20%UP	
これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
しっかり話し合い被承継者と承継者が共に納得できるよう最善を尽くして事業承継することが大事だと思います。	両親が始めたお店を引き継ぐ際に難しく感じたのは引退の花道をどうあるかでした。気持ち良く終わることすべてが報われ引き継いだ後も創業者から応援してもらえるようになると思います。話し合い、折り合いをつけてより良い着地点を見つける事が大事だと思います。